

報道関係各位

次世代を担うアーティスト・デザイナーを発掘・応援する、東京ミッドタウンの取り組みをお届けします！

## Tokyo Midtown Award 2011

ニュースレター 第 2 号

～7/5(火)より、<デザインコンペ>の作品募集を開始しました～

東京ミッドタウンは、コンセプトである「JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)」を創造・結集し、世界に発信し続ける街を目指す一環として、「Tokyo Midtown Award 2011」を開催しています。今年で 4 回目となる本アワードは、これまでと同様にアートコンペ、デザインコンペの 2 部門で実施中です。

昨年のデザインコンペは「On the Green」をテーマに募集し、国内外から総計 1,354 名(組)の応募があり、その中から「グランプリ」「準グランプリ」「佳作」「審査員特別賞」含め、8 点の受賞作品を選出しました。今年度は 2012 年春に東京ミッドタウンが開業 5 周年を迎えることから、都心の上質な日常を彩る「5」をテーマに募集しています。入賞作品は東京ミッドタウン内プラザ B1F のパブリックスペースに展示し、商品化もサポートしていきます。

### 【目次】

1. 「Tokyo Midtown Award 2011 デザインコンペ」 7/5(火)～募集開始
2. デザインコンペ: 審査員からのコメント
3. デザインコンペ: 今後のスケジュール
4. デザインコンペ: 受賞作品商品化サポート
5. 「Tokyo Midtown Award 2011 アートコンペ」 募集受付終了、2 次審査に進む 10 作品決定
6. アートコンペ: 公開 2 次審査実施

## デザインコンペ

### 1. 「Tokyo Midtown Award 2011 デザインコンペ」 7/5(火)～募集開始

7 月 5 日(火)から Tokyo Midtown Award 2011 デザインコンペの募集が開始されました。テーマは「5」。2012 年春に開業 5 周年を迎える東京ミッドタウン。今回は、都心の上質な日常を彩る「5」にまつわるデザインを募集しています。(応募締切: 8 月 5 日(金)必着)

### 2. <デザインコンペ> 審査員からのコメント



小山 薫堂(放送作家 / 脚本家 / N35inc・(株)オレンジ・アンド・パートナーズ代表 / 東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科長)

今年のテーマは、これまでの中で最も難題だと思います。「5」というこのテーマには、社会性もニュース性もありません。ミッドタウンの 5 周年に合わせた、実に身勝手な要求であります。

どういう斬り口にするか、そこにどんなメッセージを込めるか・・・参加するみなさんは大変だろうなあ。悩むだろうなあ。

でも、それを乗り越えるのが面白いんじゃないですか、デザインって。

ぜひとも素晴らしい作品を送りつけ、審査員と東京ミッドタウンをギャフンと言わせてください。

photo by Hiromi Shinada



**佐藤 卓(グラフィックデザイナー / 佐藤卓デザイン事務所 代表取締役)**

今年のテーマは「5」。単純だけれども面白い。少なくとも多くもない微妙な数。俳句の五七五であれば「古池や」のように五音で情景とそれに続く物事の気配すらも設定できる。ただ単純に5という数字を素材に遊んでみることに留まらず、深く深く考えて、他の人が出していないアイデアをぜひ提案してもらいたいと思います。



**柴田 文江(インダストリアルデザイナー / Design Studio S 代表)**

あたりまえの日常の大切さを多くの人が実感している今この時に、デザインがもたらす幸せとは何なのかを「5」というテーマと共に表現してほしい。  
心の豊かさや、人間らしく生きることについて考えずにデザインすることはもう不可能であり、どんなシーンであれ、デザインはそのことの答えを模索し続ける義務があると思う。  
多くのひとが、日常がくり返されることの幸福を願っている。

Photographs by: 殿村誠士



**原 研哉(グラフィックデザイナー / 武蔵野美術大学教授 / 日本デザインセンター代表)**

今人間は手の指も足の指も五本ずつある。目は横に二つ並んでついており、腕も脚も二本ずつ左右対称についている。これはなぜだろうか。  
鼻の穴は、一つでもよさそうなのに二つあり、耳は四つほどあった方がより立体的に聞こえそうだが、鼻とは違う位置、つまり顔の側面に左右対称についている。これはなぜだろうか。  
視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚で五感と言われるが、他に感覚はないのだろうか。  
こんなことを、色々考えていると、新しいデザインができそうな気になりますが、いかがでしょうか。



**水野 学(アートディレクター / クリエイティブディレクター / good design company 代表)**

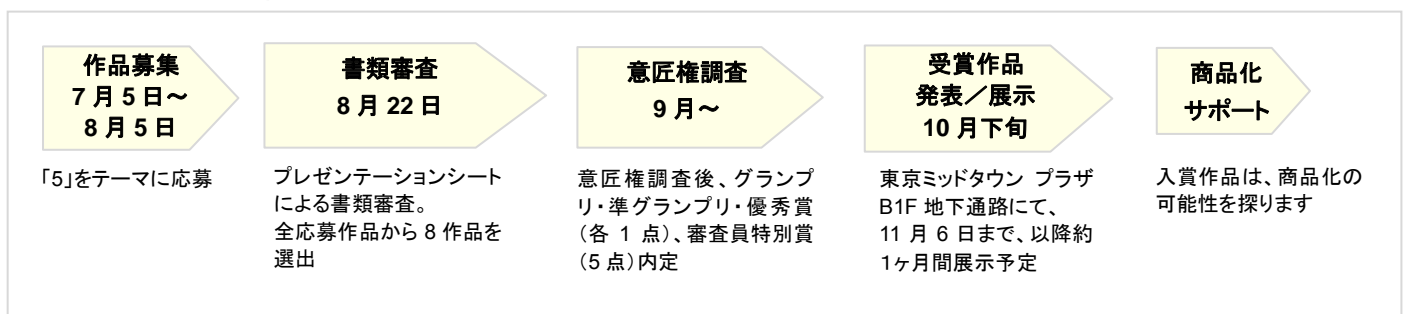
この度の宮城県沖を震源とする大震災により被災した皆様に深くお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになった皆様のご冥福を心よりお祈りいたします。4年目を迎えたミッドタウンアワードで、光栄にも4度目の、デザイン部門の審査を務めさせていただくことになりました。常日頃より「デザインと経済は密接な関係を持っている」と考えていました。  
このアワードの受賞作品が、日本の経済の復興の一助となることを願ってやみません。

Photo by Eiki Mori

**3. <デザインコンペ> 今後のスケジュール**

デザインコンペでは8月5日(金)に応募を締め切った後、8月22日(月)に行われる書類審査を経て、10月下旬に受賞作品8点が決定します。審査員5名全員が参加する書類審査も、メディア公開予定です。

**<デザインコンペ> 審査の流れ**



#### 4. <デザインコンペ> 受賞作品商品化サポート

「Tokyo Midtown Award デザインコンペ」では、入賞作品発表後、東京ミッドタウン内の店舗をはじめ各所と商品化に向けた活動を進めていきます。これまでに5作品が商品化、うち4作品が全国各地のセレクトショップなどで販売され、話題を呼んでいます。今年もデザインコンペから、どのような人気商品が生まれるかご期待ください。

##### ～これまでに商品化された受賞作品～



【商品名】富士山グラス（フジヤマグラス）

【価格】3,776 円(税込)

【賞】「Tokyo Midtown Award 2008 デザインコンペ」審査員特別賞（水野学賞）

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」、「THE COVER NIPPON」他

【商品概要】

世界中どこにいても日本を意識できる、ドリンクを注ぐと富士山ができてあがるグラス。赤富士や黒富士など注ぐものによって様々な表情を見せます  
審査員・水野学氏デザインの桐の木箱入りで豪華な仕様です。



【商品名】okokoro tape（オココロ テープ）

【価格】525 円(1 個・税込)／1,029 円(3 個セット・税込)

【賞】「Tokyo Midtown Award 2008 デザインコンペ」審査員特別賞

（小山薫堂賞）

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」、「THE COVER NIPPON」他

【商品概要】

日本人の謙虚な心をメッセージ化し「つまらないものですが」と書かれたマスキングテープ。簡単に剥がし貼りが可能です。



【商品名】さくら石鹼

【価格】1,575 円(税込)

【賞】「Tokyo Midtown Award 2008 デザインコンペ」

一般の部 グランプリ・東京ミッドタウン・オーディエンス賞

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」、「THE COVER NIPPON」

【商品概要】

さくらの花びらに見立てた薄紅色の石鹼。湯船に浮かべれば春爛漫の爽やかな雰囲気に包まれます。



【商品名】くつくつた

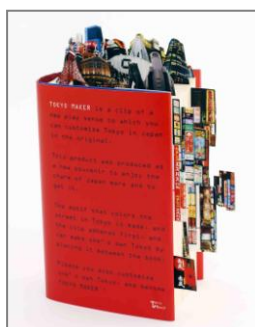
【価格】1,260 円(税込)～

【賞】「Tokyo Midtown Award 2008 デザインコンペ」審査員特別賞(内藤廣賞)

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」他

【商品概要】

「靴を脱いであがる」という日本の文化を具現した靴をデザインした靴下。  
財団法人日本産業デザイン振興会主催「2009 年度グッドデザイン賞」  
(G マーク)を受賞しました。



【商品名】TOKYO MAKER（トウキョウ メーカー）

【価格】未定（付箋紙4種～）

【賞】「Tokyo Midtown Award 2009 デザインコンペ」学生の部 グランプリ

東京ミッドタウン・オーディエンス賞

【販売店舗】東京ミッドタウン内「Green DeLi」、「THE COVER NIPPON」(予定)

【商品概要】

東京の風景や名所をモチーフにした付箋紙。様々な東京の風景を書籍に挟むことで、自分だけの“オリジナル東京”をつくることができます。東京観光の新たなお土産に最適の商品です。

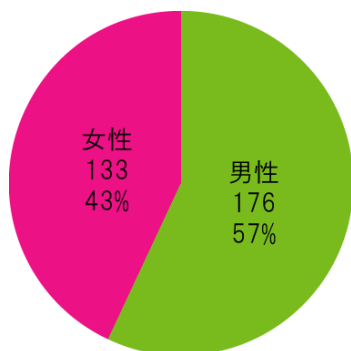
## 5. 「Tokyo Midtown Award 2011 アートコンペ」募集受付終了、2次審査に進む10作品決定

6月1日(水)から募集開始した Tokyo Midtown Award 2011 アートコンペは、6月21日(火)をもって募集を締め切りました。

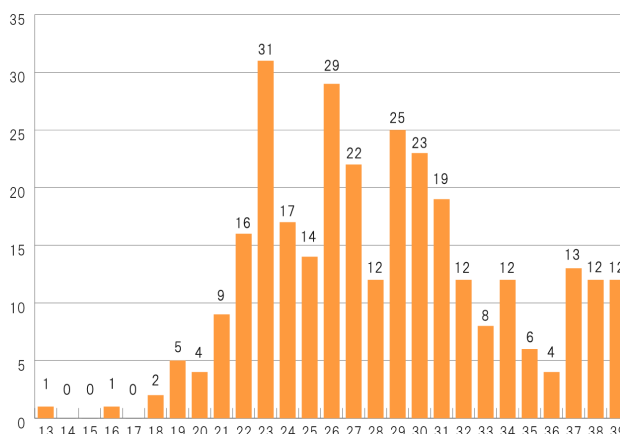
今年のテーマは、「都市」。多くの人が様々な目的で行き交う東京ミッドタウン内プラザ B1F「メトロアベニュー」を舞台に、東京ミッドタウンにふさわしい「都市のアート」を募集し、309点の応募がありました。

### <応募状況データ>

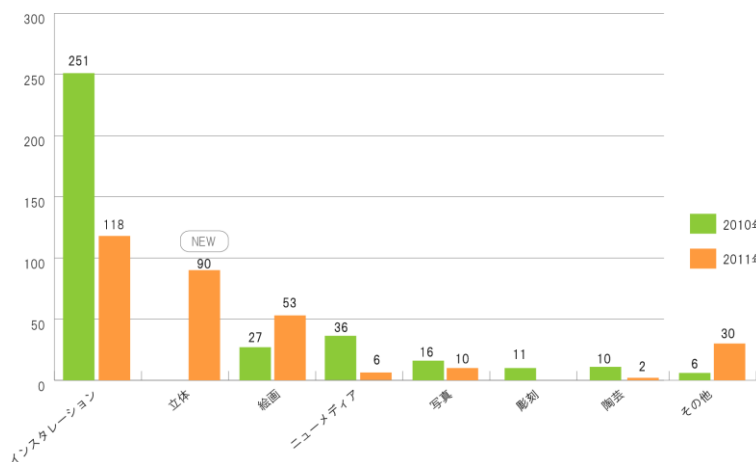
#### ●男女比



#### ●年齢分布



#### ●応募ジャンル



#### ●傾向

- ・ 昨年同様、20代の応募が、半数以上を占めている
- ・ 昨年は同等であった男女比が、今年は男性が若干多い
- ・ 立体、絵画の各応募数が、昨年まで最多だったニューメディアを上回った

7月4日(月)には応募書類による1次審査が行われ、7月25日(月)の2次審査(プレゼンテーション)に進む10作品が決定しました。今年の応募作品の中には、3月に発生した東日本大震災の影響を受けた作品も多く、「あたたかさ」「楽しさ」「力強さ」を感じる作品がみられました。

また、昨年までのテーマであった「ガラスケース」という条件がなくなったことで、作品の自由度が高まり、今まで以上に表現が多様化しました。

### <1次審査通過者一覧(順不同)>

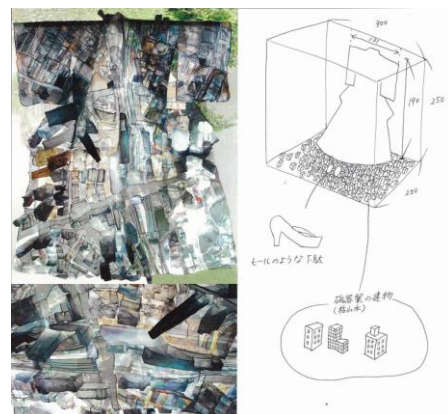
#### ① 松田 唯(まつだ ゆい)「東京道中鳥瞰着」

2009年多摩美術大学美術学部生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻卒業

東京芸術大学院美術研究科先端芸術表現専攻 在学中

<展覧会歴>2009年「No Man's Land」(仏大使館)

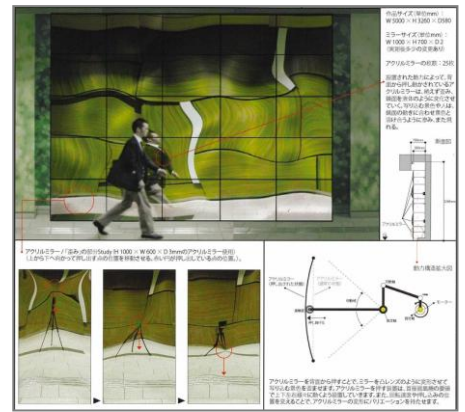
東京の風景をプリントした衣服を用いた「東京を纏う」インスタレーション。



② 木村 恒介(きむら こうすけ)「みえない景色」

2009年東京芸術大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了  
＜展覧会歴＞2009年「神戸ビエンナーレ 2009」  
2010年「松戸アートラインプロジェクト」

アクリルミラーを背面から押すことで歪みを生み出し、日常とは異なる景色を創出する。



③ 林 雄一(はやし ゆういち)「One of the planets.」

2000年東京造形大学造形学部美術学科彫刻専攻卒業  
2002年東京造形大学院造形学部彫刻研究室修了

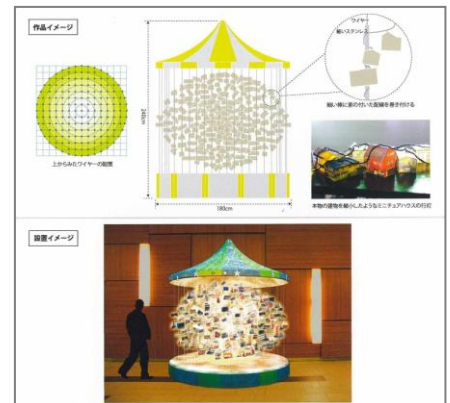
世界遺産を螺鈿細工で地球に表現し、東京ミッドタウンに宇宙空間を生み出す。



④ 栗 真由美(くり まゆみ)「builds crowd」

1998年東京学芸大学大学院美術教育工芸科修了  
＜受賞歴＞「10th SICF」準グランプリ

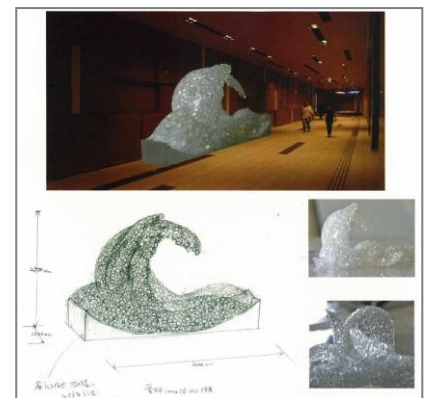
都市をひとりひとりの生活の灯火の集合体ととらえ、約 1000 個のミニチュアハウス形の行灯で表現。



⑤ 北川 貴好(きたがわ たかよし)「amplitude 波-喪失」

1999年武蔵野美術大学建築学科卒業  
＜展覧会歴＞2003年「大地の芸術祭 越後妻有トリエンナーレ」  
2008年「黄金町バザール」「多摩川アートラインプロジェクト」、2009年「水と土の芸術祭」  
2010年「あいちトリエンナーレ」

白熱電球を用いて震災で刻み付けられた波の形を創出、失った街、家、エネルギーを表現する。



⑥ 大石 麻央(おおいし まお)「住むところ 歩くところ」

2009年武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業  
2011年武蔵野美術大学院造形研究科美術専攻彫刻コース修了  
＜展覧会歴＞2009年「トーキョーワンダーウォール」  
2010年「SICF」「THE SIX」  
＜受賞歴＞ 2009年「トーキョーワンダーウォール公募 2009 立体・インスタレーション部門」入選  
2010年「SICF11」準グランプリ

動物マスクを被った人体彫刻を5体制作し、都市をゆきかう多くの人の心を具現化。



⑦ 宮本 宗(みやもと ひろむ)「都市の見えない危機」

2010年愛知県立芸術大学美術学部卒業

愛知県立芸術大学院 在学中

- <展覧会歴>2009年「長久手アートフェスティバル 2009」  
2010年「アートアワード TOKYO 丸の内 2010」  
「瀬戸内国際芸術祭」

太平洋戦争で長崎に投下された「FATMAN」をモチーフとした作品を制作し、現代日本において我々にせまる見えない恐怖に警鐘を鳴らす。



⑧ 川崎 泰史(かわさき やすひと)、五宝 恵理(ごほう えり)  
「わたしはあなたで、あなたはわたし」

川崎:2008年金沢美術工芸大学工芸科卒業

- <展覧会歴>2010年「GEISAI#14」、「アートアワード  
TOKYO 丸の内 2010」

<受賞歴>2009年「金沢アートプロジェクト」秋本雄史賞

五宝:2009年金沢美術工芸大学工芸科鍍金卒業

- <展覧会歴>2010年「GEISAI#14」  
<受賞歴>2009年「金沢アートプロジェクト」秋本雄史賞



中央の出会いの木を中心に、男女の出会いの瞬間、両者に流れる時間を表現。

⑨ 米元 優曜(よねもと まさあき)「REC・NOW」

2010年倉敷芸術科学大学芸術学部工芸・デザイン学科ガラス造形コース卒業(首席)、富山ガラス造形研究所 在学中

- <展覧会歴>2011年「第50回日本クラフト展」  
<受賞歴>「第4回現代ガラス大賞展・富山 2011 特別賞  
富山商工会議所会頭賞 準グランプリ」

高さ2メートルのガラス彫刻を回転する台座に設置し、ゆきかう人々がガラスに映り込み刻々と変化する姿を創出。



⑩ 山本 聖子(やまもと せいこ)「frames of emptiness」

2004年大阪芸術大学芸術学部美術学科卒業

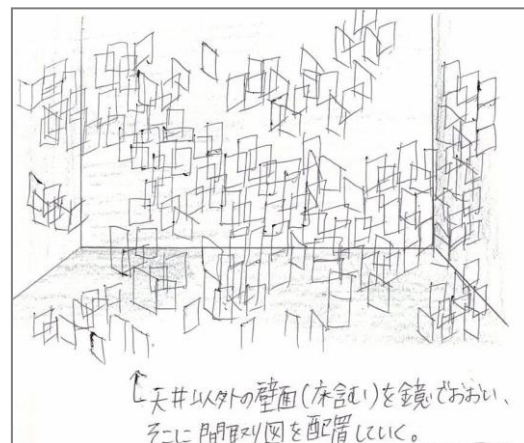
2006年京都造形芸術大学院芸術研究科芸術表現専攻修了

- <展覧会歴>2010年「個展」コバヤシ画廊  
2011年「VOCA2011」

<受賞歴>学長賞(大阪芸術大学卒業制作展)

<レジデンス>2010年国際芸術センター青森

間取り図を集合させる作品を制作し、都市と自己との関係をあらためて意識させる。



## 6. <アートコンペ> 公開2次審査のご案内

7月25日(月)には、1次審査を通過したアーティストが審査員に対してプレゼンテーションを行い、最終審査に進むアーティストを決定する2次審査を実施します。“落とす”審査ではなく、よりよい作品への“ヒントを与える”審査であり、Tokyo Midtown Awardが“育成型コンペ”たる所以とも言える審査会です。

本審査会は、ウェブでお申し込みいただいた一般の方(抽選50名様)にご見学いただけるほか、報道関係者の皆様にも公開させていただきます。参加ご希望の方は、下記までご連絡ください。